

こうあるべき

あなたが「こうあるべきだ！」と思っていることは、実はどんなに大切ではないことが多いたいのです。もともと大きな視点で宇宙的な視点で離れて見るとどうでもいいことも多いたいようです。不幸なことは、その「こうあるべき」にとらわれてしまふこと、そして人を巻き込んでしまうことがあります。(ほとんどの人が自分の中に「こうあるべき」というものをいくつも持っているものです。あなたの「こうあるべき」は何でしょう？紙に書き出していくと何となくあきらめてしまう！)

- ・夜ねる前に食べない
- ・うじは大切きちんとあべき
- ・お金を使わず節約あべき
- ・人の言葉には断らない
- ・服装、身なりはきちんとあべき

理論的に正しいと思っていることを頭の中で「こうあるべき」としてしまうことも多いたいようです。

こうあるべきを手放せば心が軽くなる人生は楽たまる

おじとうさんだより

Vol. 163
2018.10月



作者: 鳥越介順

例いつしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

自分をゆるすとき

自分に厳しく、ストイックに生きている人は厳しさには強くなれるが、その厳しさから自分を解き放つことがなかなか出来なくなるものです。急には出来ないのでリハビリが必要になります。
少しずつ自分をゆるめて良いことを自分に言い聞かせ

ゆっくり ゆっくりと

ゆるすといいでしょ。



ひよっとして 今日の日を買ったん？

今年の7月号の水色の天使の物語で主人公の孤独な老いた男が水色の天使に1回に100万円を払って家族と過ごしたある日の夢を見れるというおまじがありました。

妻はその話が気に入ったのか、

最近、息子夫婦が遊びに来てくれる日や都会にいる娘が帰ってくる日に

夫婦で楽しく食事の準備をしている時に

妻「お父さん 今日の日…ひよっとしたら天使にお金を払ったん？」

私も娘子に乗せて

「どうねん 30年後に払はとろわー」

「高いどー 100万円やから 大切にせんなんわー」

ワハハハ ハハ

という会話をよくします。